

令和6年度 第2回亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会

と き：令和7年2月6日(木)

午前10時30分から

ところ：亀岡市役所3階302・303会議室

次 第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 協議事項

(1) 第10期計画に向けての評価方法の見直しについて

資料1、別紙1-1～2、参考資料

(2) 高齢者等実態把握調査について

資料2、別紙2

(3) その他

4 閉 会

亀岡市いきいき長寿プラン推進協議会委員名簿

(令和6年7月1日～令和8年6月30日：敬称略)

所属	団体名	委員名	備考
学識経験者	龍谷大学	松田 美智子	会長
保健、医療、福祉等	亀岡市医師会	河野 秀彦	副会長
保健、医療、福祉等	亀岡市歯科医師会	荻野 茂	
保健、医療、福祉等	亀岡市薬剤師会	国府 千香代	
保健、医療、福祉等	亀岡市社会福祉協議会	井上 幸子	
保健、医療、福祉等	亀岡市民生委員児童委員協議会	中西 明美	
保健、医療、福祉等	公益社団法人 亀岡市シルバー人材センター	藤本 泉泰	
保健、医療、福祉等	社会福祉法人 利生会	細川 景子	
保健、医療、福祉等	社会福祉法人 友愛会	前渕 功	
保健、医療、福祉等	亀岡市老人クラブ連合会	林 昭	
市民代表	亀岡市自治会連合会	野田 典和	
市民代表	市民代表	谷奥 正憲	
市民代表	市民代表	岩坂 静子	
行政機関	京都府南丹広域振興局	庄田 昭彦	

第10期計画に向けての評価方法の見直しについて

保険者として目指すこと・各事業の役割や効果について一目で理解できるものとしてロジックモデルを活用し、第9期計画において、第8期計画と同様に事業展開しています。

第9期計画策定時（令和5年度）に一部の初期アウトカムを見直したが、明確な基準なく見直し期間も短かったため、十分な精査ができませんでした。

第10期計画策定（令和8年度）に向けて、初期アウトカム等の見直しをスムーズに行うため、初期アウトカムの評価基準を定め（可能なら中間アウトカムも）、ロジックモデルをより良いものにしたいと考えています。

初期アウトカムを見直す（評価する）ことの効果

今後どのように事業展開するか等の判断材料となり、事業の見直しに生かすことができると考えます。

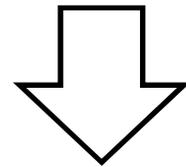
例：〇〇効果を見込んで実施したが、
効果が表れなかったので、廃止する等

（考える視点）

- ・達成できている初期アウトカムはないか？
- ・達成した初期アウトカムを変える必要はないか？
- ・初期アウトカム達成のために他に必要なことはないか？等

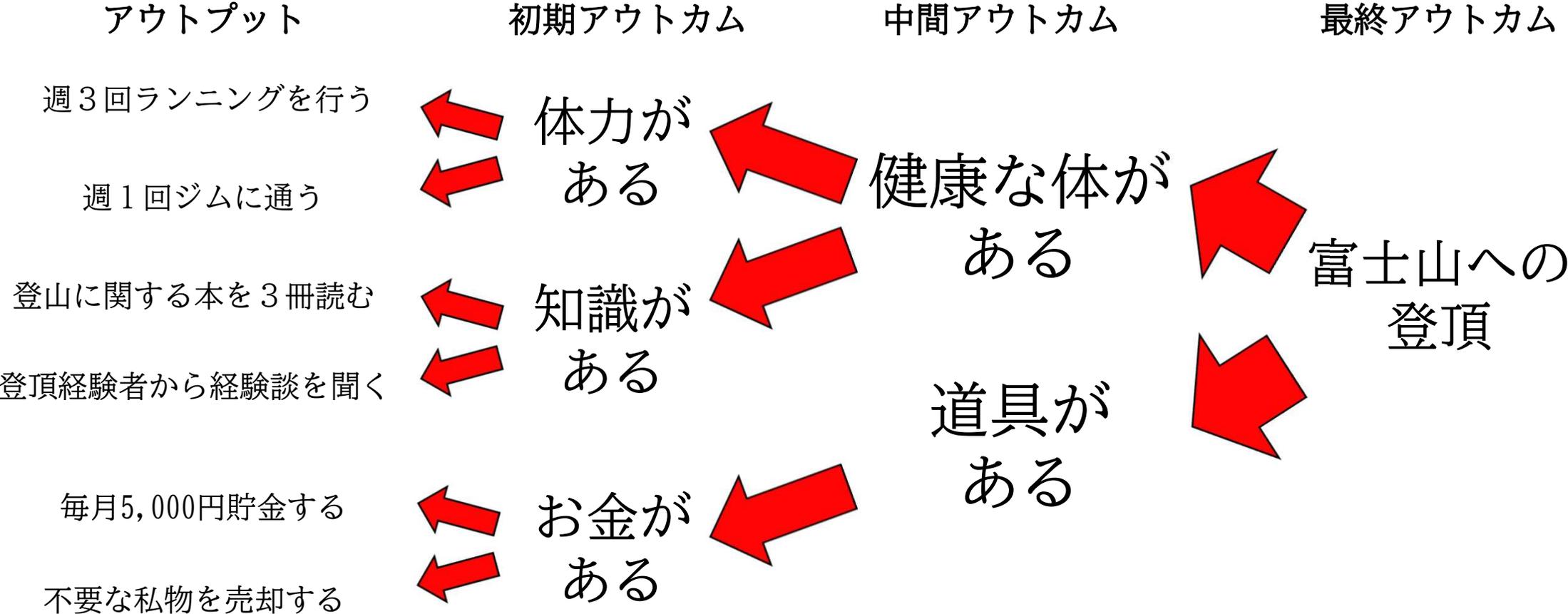
そもそもロジックモデルとは、、、

ある施策がその目的を達成するまでの論理的な因果関係を示したものであり、目的（最終アウトカム）から順番に因果関係を構築します。



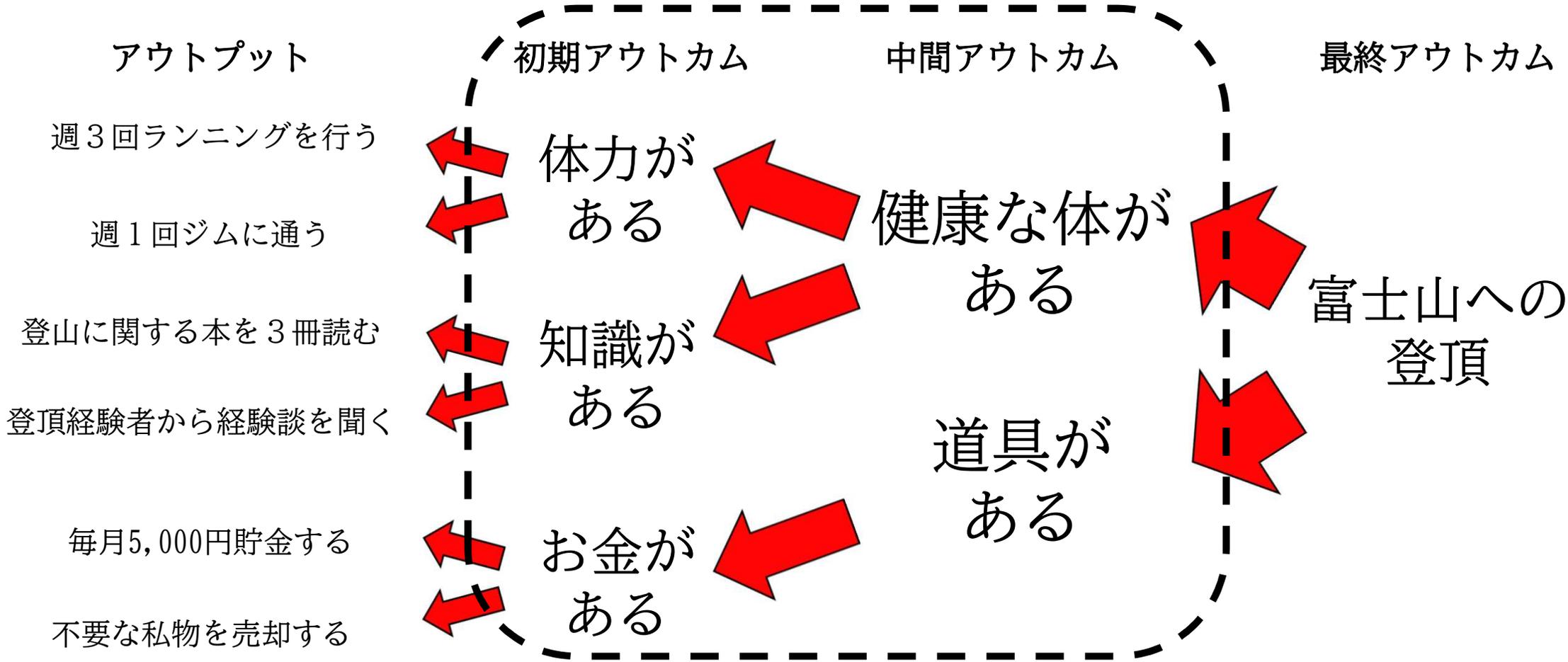
富士山登頂を例にすると、、、

ロジックモデルの例（富士山登頂が最終アウトカム）



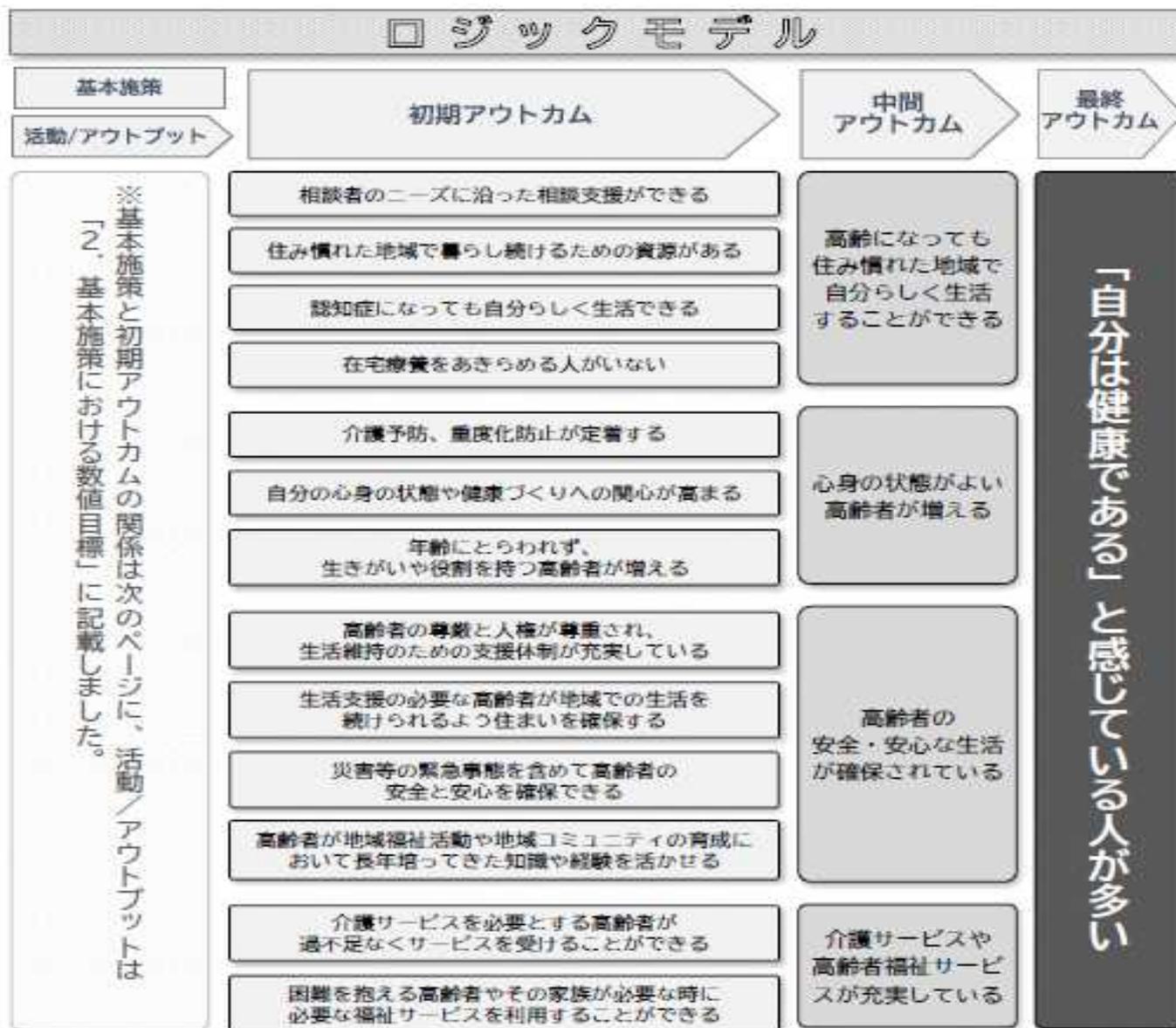
※アウトプット・アウトカムの補足はスライド8枚目にあります

これまで、初期・中間アウトカムの評価方法がありませんでした



いきいき長寿プランのロジックモデル

資料 1



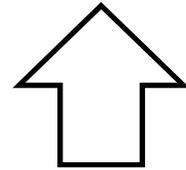
初期アウトカムの評価方法の例

資料 1

○体力がある

ランニングをしたり、ジムに通う（アウトプットの実施）前に体力測定を行い、1年後に同様の体力測定を行う。結果、向上していれば、体力があるという初期アウトカムは達成したと判断ができる。

※週3回のランニングがアウトプット（数値目標）であり、実施できていた（結果が分かった）としても、体力の向上に繋がったかは見えない。



評価方法案は
別紙1-1、1-2のとおり

このように評価方法を定めて、
第10期計画策定に向けて第9期計画の評価を行いたい
と考えています。

補足

アウトプット・アウトカムとは、

(例) 介護予防事業

(順序)
結果→効果・成果

アウトプット
介護予防事業を年4回する

アウトカム
要介護認定重度化を抑制

↑
何回実施したかの回数や
事業参加者数等の数値
(結果)

↑
介護予防事業を実施した上で得られるもの
(効果・成果)

初期アウトカムの評価方法案

案段階の評価方法であり、今後精査していきます。御意見等あれば頂戴いただけますと幸いです。

別紙 1 - 1

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

										案段階													
基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値			初期アウトカム	自己評価		達成/未達成 (判断基準は別紙)	初期アウトカム 評価基準			未達成理由	第10期 初期アウトカム	担当							
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	令和7年度 (2025)		令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)		評価基準 1 (達成数)	評価基準 2 (その他)	最終判断										
基本目標 1 地域包括ケアシステムの強化	(1) 相談体制・支援体制の強化（地域包括支援センターの機能強化）	① 総合相談支援の充実	地域包括支援センター出張相談の実施	地域包括支援センター出張相談の実施回数	年42回以上	年42回以上	相談者のニーズに沿った相談支援ができる			相談者へのアンケートを実施し、満足度の平均が7割以上で達成とする。 (アンケートは各地域包括支援センターが実施することを想定しているため、各地域包括支援センターに協力依頼の必要あり) ※2023年の全業種の日本顧客満足度が約72%であるため、7割を目標指標とした。 ※満足度とニーズに沿った相談支援ができることは厳密には別軸であるため、設問を希望に沿った相談を受けられたか等にする方法も良いと考える。	評価基準1または評価基準2が達成であれば、達成とする。 ※初期アウトカムによっては、数値目標の達成状況から初期アウトカムの達成・未達成が判断できると考えるため。		高齢福祉課 地域包括ケア推進係										
				相談件数																			
		② 介護予防ケアマネジメントの充実	機能強化職員等の配置	地域包括支援センターにおける機能強化職員の配置人数	7人以上	7人以上										高齢福祉課 地域包括ケア推進係							
			包括及び市で生活状況調査（訪問調査）を実施	訪問調査実施件数	年30件以上	年30件以上											高齢福祉課 地域包括ケア推進係						
		③ 包括的・継続的なケアマネジメントの充実	地域包括支援センターが生活支援コーディネーターと地域ケア推進会議開催に向けた連携	各地域包括支援センターと生活支援コーディネーターの連携回数	年7回以上	年7回以上												高齢福祉課 地域包括ケア推進係					
				地域包括支援センター職員（3職種）の確保	配置基準を満たしている地域包括支援センター数	7包括		7包括												高齢福祉課 地域包括ケア推進係			
		④ 地域包括支援センター職員の質の向上と負担軽減	地域包括支援センター職員に対する研修の実施	地域包括支援センター職員に対する研修の実施	年2回	年2回													高齢福祉課 地域包括ケア推進係				
			⑤ 地域ケア会議の強化	地域ケア個別会議の開催	開催回数	年7回以上		年7回以上														高齢福祉課 地域包括ケア推進係	
		地域ケア推進会議の開催		開催回数	年7回以上	年7回以上															高齢福祉課 地域包括ケア推進係		
		基本目標 1 地域包括ケアシステムの強化	(2) 生活支援体制整備の推進	① 生活支援体制整備の推進	生活支援コーディネーターの設置	SC設置数（1層）		1人	1人					(例) (例) 住み慣れた地域で暮らし続けるための資源がある	B								C
1層協議体の数	1つ					1つ	A	B	達成 (B)	高齢福祉課 地域包括ケア推進係													
SC設置数（2層）	3人					3人					高齢福祉課 地域包括ケア推進係												
2層協議体の数	3つ					3つ						高齢福祉課 地域包括ケア推進係											
集いの場の把握、担い手の発掘	高齢者通いの場支援事業助成金の交付団体数					16団体	18団体								健康増進課 健康づくり係								
就労的支援コーディネーターの設置	就労的支援コーディネーター設置数					1人	1人									高齢福祉課 地域包括ケア推進係							

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

			案段階													
基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値			初期アウトカム	自己評価		達成/未達成 (判断基準は別紙)	初期アウトカム 評価基準			未達成理由	第10期 初期アウトカム	担当
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	令和7年度 (2025)		令和6年度(2024)	令和7年度(2025)		評価基準1 (達成数)	評価基準2 (その他)	最終判断			
基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(3) 認知症施策の推進	① 認知症への理解を深めるための知識の普及啓発	認知症市民公開講座	開催回数	年1回	年1回	認知症になっても自分らしく生活できる				<p style="text-align: center; font-size: 2em; font-weight: bold;">検討中</p> <p>評価対象の数値目標が10個あり、過半数の6個以上が達成（B以上）であれば「達成」、達成が6個未満であれば「未達成」とする。</p> <p>ニーズ調査の「認知症にかかる相談窓口を知っているのか」の設問で、はいの割合が令和4年度調査時に比べ増加</p> <p style="text-align: center;">調査報告書85ページ</p> <p>※自分らしく生活するには支援体制が必要であるため、相談窓口に係る設問において、判断する。 ※達成・未達成に関わらず、初期アウトカムが大きすぎるため、第10期では見直しが必要と考える。</p>	<p>評価基準1または評価基準2が達成であれば、達成とする。</p> <p>※初期アウトカムによっては、数値目標の達成状況から初期アウトカムの達成・未達成が判断できると考えるため。</p>			高齢福祉課 高齢者支援係	
				参加者数	120人	120人							高齢福祉課 高齢者支援係			
			認知症カフェ	開催回数	年40回	年40回							高齢福祉課 高齢者支援係			
				のべ参加者数（年間）	80人	80人							高齢福祉課 高齢者支援係			
			認知症サポーターの育成	サポーターの養成数（年間）	400人	400人							高齢福祉課 高齢者支援係			
				サポーター養成講座実施回数	年15回程度	年15回程度							高齢福祉課 高齢者支援係			
				活動しているサポーター数	3人	5人							高齢福祉課 高齢者支援係			
			② 認知症支援体制の整備と関係機関の連携	認知症地域支援推進員	認知症地域支援推進員の配置	1人		2人							高齢福祉課 高齢者支援係	
					認知症初期集中支援チーム	ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合		100%	100%							高齢福祉課 高齢者支援係
				認知症高齢者事前登録制度	広報回数	年1回		年1回							高齢福祉課 地域包括ケア推進係	
		登録者数(年度末)											高齢福祉課 地域包括ケア推進係			

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

案段階																
基本目標	施策の方向	基本施策（活動/アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値			初期アウトカム	自己評価		達成/未達成 (判断基準は別紙)	初期アウトカム 評価基準			未達成理由	第10期 初期アウトカム	担当
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	令和7年度 (2025)		令和6年度(2024)	令和7年度(2025)		評価基準1 (達成数)	評価基準2 (その他)	最終判断			
基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(4) 在宅医療・介護の連携推進	① 在宅医療・介護の連携の実態把握、課題の検討、課題に応じた施策立案	亀岡市地域医療・介護・福祉連携推進会議の開催	会議の開催回数	概ね月1回	概ね月1回	在宅療養をあきらめる人がいない				検討中	ニーズ調査の「お住まいの地域について、安心して在宅生活を継続しやすいか」の設問で、5点以上の割合が令和4年度調査時に比べ増加で達成とする。 調査報告書99ページ ※達成・未達成に関わらず、初期アウトカムが大きいため、第10期では見直しが必要と考える。			健康増進課 健康管理係	
		② 地域の関係者との関係構築・人材育成	かめおか医療連携研究会の開催	開催回数	年2回以上	年2回以上										健康増進課 健康管理係
			情報交換会の開催	開催回数	年10回以上	年10回以上										健康増進課 健康管理係
		③ 在宅医療・介護の連携に向けた基盤強化	市民への啓発活動の実施	実施回数	年5回以上	年6回以上										健康増進課 健康管理係
基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進	① 介護予防・日常生活支援サービス事業の取組	介護予防・生活支援サービス事業	利用者数（訪問）	230人	233人	介護予防、重度化防止が定着する				検討中	ニーズ調査の「フレイルを知っていますか」の設問で、内容をよく知っている・内容を知っているの割合の合計が令和4年度調査時に比べ増加で達成とする。 ※調査報告書76ページ	評価基準1または評価基準2が達成であれば、達成とする。 ※初期アウトカムによっては、数値目標の達成状況から初期アウトカムの達成・未達成が判断できると考えるため。		高齢福祉課 介護事業所係	
				利用者数（通所）	391人	398人										健康増進課 健康づくり係
		②一般介護予防事業の推進	介護予防教室	参加実人数（年間）	100人	100人										健康増進課 健康づくり係
			体力測定事業	参加者数（年間）	400人	400人										健康増進課 健康づくり係
			出前健康講座	広報回数	年3回	年3回										健康増進課 健康づくり係
				健康教育開催回数	11回	11回										健康増進課 健康づくり係
			介護予防拠点活動事業	実施場所の数	9か所	9か所										健康増進課 健康づくり係
				のべ参加者数	2,800人	2,800人										健康増進課 健康づくり係

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

										案段階								
基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値			初期アウトカム	自己評価		達成/未達成 (判断基準は別紙)	初期アウトカム 評価基準			未達成理由	第10期 初期アウトカム	担当		
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	令和7年度 (2025)		令和6年度(2024)	令和7年度(2025)		評価基準1 (達成数)	評価基準2 (その他)	最終判断					
基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(2) 健康づくりの推進と介護予防の一体的な実施	① 健康づくり支援の充実	健康づくりの普及啓発	健康イベント（健康いきいきフェスティバル）の開催回数	年1回	年1回	自分の心身の状態や健康づくりへの関心が高まる			検討中 ニーズ調査の「健康についての記事や番組に関心があるか」の設問において、はいの割合が令和4年度調査時に比べ増加で達成とする。 調査報告書41ページ	評価基準1または評価基準2が達成であれば、達成とする。 ※初期アウトカムによっては、数値目標の達成状況から初期アウトカムの達成・未達成が判断できると考えるため。			健康増進課 健康管理係				
			各種健診（検診）の実施	特定保健指導の実施率	31%	37%										健康増進課 健康づくり係		
			健康教育・健康相談	健康相談開催回数	年12回	年12回											健康増進課 健康づくり係	
		② 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	通いの場への支援	支援対象となる「通いの場」の数	14か所	14か所												健康増進課 健康づくり係
			ハイリスク者への支援(新規)	支援実施率	100%	100%											健康増進課 健康づくり係	

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

案段階																							
基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値			初期アウトカム	自己評価		達成/未達成 (判断基準は別紙)	初期アウトカム 評価基準			未達成理由	第10期 初期アウトカム	担当							
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	令和7年度 (2025)		令和6年度(2024)	令和7年度(2025)		評価基準1 (達成数)	評価基準2 (その他)	最終判断										
基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(3) 高齢者の活動支援（生きがいづくり）	① 活動機会の拡充	老人クラブの活動支援	老人クラブイベント参加者数	500人	550人	年齢にとらわれず、生きがいや役割を持つ高齢者が増える				ニーズ調査の「生きがいはあるか」の設問において生きがいありの割合が令和4年度調査時に比べ増加で達成とする。 調査報告書47ページ	評価基準1または評価基準2が達成であれば、達成とする。 ※初期アウトカムによっては、数値目標の達成状況から初期アウトカムの達成・未達成が判断できると考えるため。			高齢福祉課 高齢者支援係								
			生涯学習等	亀岡市さわやか教室の受講者にアンケートを行い、日々の生活に活かしたい具体的な内容が得られたと答えた人の割合	80%	80%																社会教育課	
					三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、生涯学習市民大学、丹波学トーク）のべ参加者数	4,220人		4,300人														市民力推進課	
				生涯スポーツ事業参加者	5,535人	5,596人																生涯スポーツ課	
				老人福祉施設（介護予防センター）の活用促進	使用日数	370日		370日															高齢福祉課 高齢者支援係
			のべ利用者数		4,900人	4,900人																	
			外出促進（敬老乗車券の販売）	購入者実人数	1,500人	1,500人																高齢福祉課 高齢者支援係	
			② 就労機会の拡大	シルバー人材センターの活動支援	会員数	660人		660人															高齢福祉課 高齢者支援係

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

										案段階						
基本目標	施策の方向	基本施策（活動/アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値			初期アウトカム	自己評価		達成/未達成 (判断基準は別紙)	初期アウトカム 評価基準			未達成理由	第10期 初期アウトカム	担当
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	令和7年度 (2025)		令和6年度(2024)	令和7年度(2025)		評価基準1 (達成数)	評価基準2 (その他)	最終判断			
基本目標3 高齢者の安全・安心な暮らしを支える体制づくり	(1) 権利擁護の促進	① 高齢者虐待の防止	早期発見・防止に向けた取組	専門職等への周知及び市民への啓発	年1回以上	年1回以上	高齢者の尊厳と人権が尊重され、生活維持のための支援体制が充実している			評価対象の数値目標が4個あり、過半数の3個以上が達成(B以上)であれば「達成」、達成が3個未満であれば「未達成」とする。	ニーズ調査の「何かあったときの相談相手」の設問において、社会福祉協議会・民生委員と地域包括支援センター・市役所の割合の合計が令和4年度調査時に比べ増加で達成とする。 調査報告書60ページ	最終判断			高齢福祉課 高齢者支援係	
			関係機関との連携強化	高齢者虐待ネットワーク会議の開催(各機関の役割確認を必須とする)	年1回	年1回										
		② 成年後見制度の利用促進	権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける中核機関運営	中核機関運営委員会の開催	年3回以上	年3回以上										
		③ 福祉サービス利用補助事業の活用	社会福祉協議会における福祉サービス利用補助事業の活用	実績件数												
	(2) 住まいの整備	④ 消費者被害対策の強化	消費者被害防止の啓発	広報回数	年12回以上	年12回以上	生活支援の必要な高齢者が地域での生活を続けられるよう住まいを確保する			実績から住まいを確保できているか判断する。 ※国の動向を見つつ、初期アウトカムを見直すのか据え置くのか判断する必要があると考える。	最終判断			高齢福祉課 高齢者支援係		
			軽費老人ホーム、サービス付き高齢者住宅の充実	市内の軽費老人ホーム・サービス付き高齢者住宅の戸数												
	(3) 安全・安心な生活環境づくり	① 災害時における要支援者の避難支援体制の整備	要支援者の避難支援体制の充実	避難行動要支援者名簿(同意者)に対する個別避難計画の作成率	90%	92%	災害等の緊急事態を含めて高齢者の安全と安心を確保できる			ニーズ調査で「安全や安心感」を問う設問を新たに設け、令和7年度調査時は評価せず、令和10年度調査と相対(比較する)評価する。 ※ニーズ調査で「安心して在宅生活を継続しやすいか」の設問があり、8~9点、10点の回答割合が増加でも良いと考えるが、安全を問う箇所がない。 ※今後変化することが考えにくい初期アウトカムだと考えたため、据え置くのが良いと考える。	評価基準1または評価基準2が達成であれば、達成とする。 ※初期アウトカムによっては、数値目標の達成状況から初期アウトカムの達成・未達成が判断できると考えるため。	最終判断		地域福祉課		
				命のカプセル新規配付数	700件	700件										
				命のカプセル普及啓発(市広報掲載)	年1回	年1回										
		② 命のカプセル等の配付	命のカプセルの普及	命のカプセル(新規配付+情報シート添付)												
				命のカプセル普及啓発(市広報掲載)	年1回	年1回										
		③ 交通安全対策の充実	運転免許証の自主返納	自主返納者支援事業申請者数	330件	330件										
	高齢者事故件数(令和5年68件)			前年度から減少(令和6年性)	前年度から減少(令和7年性)											
	(4) 地域活動・地域交流の支援(地域福祉活動や地域コミュニティの育成)	① ボランティア・NPO活動の促進	いきいき健康ポイント制度	参加者登録数	250人	400人	高齢者が地域福祉活動や地域コミュニティの育成において長年培ってきた知識や経験を活かせる			評価対象の数値目標が2個あり、過半数の2個以上が達成(B以上)であれば「達成」、達成が2個未満であれば「未達成」とする。	ニーズ調査の「地域活動の参加状況」の参加していない・無回答の割合が8つの設問中過半数の5つにおいて令和4年度調査時に比べ減少で達成とする。 調査報告書49ページ	最終判断			高齢福祉課 地域包括ケア推進係	
				自治会加入世帯数	80.4%	80.4%										

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

案段階																
基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値			初期アウトカム	自己評価		達成/未達成 (判断基準は別紙)	初期アウトカム 評価基準			未達成理由	第10期 初期アウトカム	担当
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	令和7年度 (2025)		令和6年度(2024)	令和7年度(2025)		評価基準1 (達成数)	評価基準2 (その他)	最終判断			
基本目標4 介護保険をはじめとしたサービス基盤の整備	(1) 介護保険サービス	①介護サービスの確保	介護サービスの質の確保	地域密着型サービス事業所の運営指導件数	7件	7件	介護サービスを必要とする高齢者が過不足なくサービスを受けることができる			評価対象の数値目標が12個あり、過半数の7個以上が達成（B以上）であれば「達成」、達成が7個未満であれば「未達成」とする。 ※今後変化することが考えにくい初期アウトカムである考えたため、据え置くのが良いと考える。	評価基準1または評価基準2が達成であれば、達成とする。 ※初期アウトカムによっては、数値目標の達成状況から初期アウトカムの達成・未達成が判断できると考えるため。			高年齢福祉課 介護事業所係		
				集団指導の実施	年1回	年1回								高年齢福祉課 介護事業所係		
			新規指定事業所数	3事業所	3事業所				高年齢福祉課 介護事業所係							
			介護離職ゼロに向けた取組	特養待機者の減少	40人	35人								高年齢福祉課 介護事業所係		
		②人材確保及び質の向上	介護支援専門員の質・専門性の向上	居宅介護（介護予防）支援事業所の運営指導件数	7件	7件								高年齢福祉課 介護事業所係		
				研修の実施回数	年1回	年1回								高年齢福祉課 介護事業所係		
		介護人材の確保・育成	介護人材確保助成事業の件数		25件	25件								高年齢福祉課 介護事業所係		
														高年齢福祉課 介護事業所係		
		③介護給付の適正化の推進 (介護給付適正化計画)	介護給付適正化の推進	要介護認定の委託調査の事後点検	全件実施	全件実施								高年齢福祉課 介護事業所係		
				ケアプラン点検の件数	30件	30件								高年齢福祉課 介護事業所係		
				医療情報との突合・縦覧点検	全件実施	全件実施								高年齢福祉課 介護事業所係		
		④ 防災・感染症対策の推進	事業所において業務継続計画（BCP）の策定	策定率	100%	100%								高年齢福祉課 介護事業所係		
														高年齢福祉課 介護事業所係		
		事業所において避難訓練の実施	実施率		100%	100%								高年齢福祉課 介護事業所係		
														高年齢福祉課 介護事業所係		

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

										案段階						
基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値			初期アウトカム	自己評価		達成/未達成 (判断基準は別紙)	初期アウトカム 評価基準			未達成理由	第10期 初期アウトカム	担当
				目標指標	令和6年度 (2024) ※実施見込	令和7年度 (2025)		令和6年度(2024)	令和7年度(2025)		評価基準1 (達成数)	評価基準2 (その他)	最終判断			
基本目標4 介護保険をはじめとしたサービス基盤の整備	(2) 高齢者福祉サービス	①高齢者福祉サービスの整備	寝具洗濯乾燥消毒事業	実施件数			困難を抱える高齢者やその家族が必要な時に必要な福祉サービスを利用することができる			評価対象の数値目標が1個であり、その目標指標が達成(B以上)であれば「達成」、未達成であれば「未達成」とする。また、数値目標のない項目の実績も判断材料とする。 ※今後変化することが考えにくい初期アウトカムである考えたため、据え置くのが良いと考える。	評価基準1または評価基準2が達成であれば、達成とする。 ※初期アウトカムによっては、数値目標の達成状況から初期アウトカムの達成・未達成が判断できると考えるため。			高齢福祉課 高齢者支援係		
			緊急通報装置設置事業	新規設置件数												高齢福祉課 高齢者支援係
			高齢者自立支援住宅改修費助成金交付事業	交付件数												高齢福祉課 高齢者支援係
			福祉電話設置事業	設置件数												高齢福祉課 高齢者支援係
			高齢者ごみ出し支援事業の構築	利用者数	40人	45人										資源循環推進課
			介護用品支給事業	支給件数												高齢福祉課 地域包括ケア推進係
			認知症高齢者等居場所確認専用端末機貸与事業	貸与件数												高齢福祉課 高齢者支援係
			在宅高齢者介護激励金支給事業	支給件数												高齢福祉課 高齢者支援係
			家族介護慰労金支給事業	支給件数												高齢福祉課 高齢者支援係
		②高齢者福祉サービスの周知活動の実施	サービスガイドブックの作成	配布冊数/作成冊数												

アウトプット数値目標達成条件（判断基準1の前段階）

○令和6年度の自己評価表

自己評価：4段階評価

	【数値目標未達成】 目標値未満	【数値目標達成】 目標値の+10%未満	【数値目標達成】 目標値の+10%以上
評価区分	C	B	A

※具体的な数値が目標となっていない項目については、目標達成でA、目標未達成でCとする。

※前年度比に寄与する数値目標については、令和5年度の実績を示し、目標達成でA、目標未達成でCとする。

※2項目以上で自己評価する場合、低い方を自己評価とする。2段階以上乖離がある場合は、平均をとる。（例：BとCの場合、自己評価はCとする。AとCの場合は、自己評価はBとする）

○令和7年度の自己評価表

自己評価：4段階評価

	【数値目標未達成】 目標値未満	【数値目標達成】 目標値の+10%未満	【数値目標達成】 目標値の+10%以上
令和6年度実績値の +10%以上	B	AA	AA
令和6年度実績値の +5%以上、+10%未満	B	A	AA
令和6年度実績値の -5%以上、+5%未満	C	B	A
令和6年度実績値の -5%未満	C	B	A
令和6年度実績なし	C	B	A

※具体的な数値が目標となっていない項目については、目標達成でA、目標未達成でCとする。

※前年度比に寄与する数値目標については、前年度の実績を示し、目標達成でA、目標未達成でCとする。

※2項目以上で自己評価する場合、低い方を自己評価とする。2段階以上乖離がある場合は、平均をとる。

（例：BとCの場合、自己評価はCとする。AとCの場合は、自己評価はBとする）

○達成・未達成の判断基準

令和6年度、7年度の自己評価の結果、クロスする箇所がB以上であれば達成とする。Cのみ未達成とする。

※令和8年度に初期アウトカムを評価し計画策定をするため、令和8年度の評価は考慮できない

達成：AA、A、B

未達成：C

		令和7年（2年目）				
		評価区分	AA	A	B	C
令和6年（1年目）	AA		AA	A	A	B
	A		A	A	B	B
	B		A	B	B	C
	C		B	B	C	C

達成

未達成

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

参考資料（中間実績）

基本目標	施策の方向	基本施策（活動／アウトプット）	具体的な取組	数値目標 ※ある場合のみ ※上段：目標値 下段：実績値		令和6年度（実施見込含）	担当		
				目標指標	令和6年度（2024） ※実施見込含	特記事項			
基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(1) 相談体制・支援体制の強化（地域包括支援センターの機能強化）	① 総合相談支援の充実	地域包括支援センター出張相談の実施	地域包括支援センター出張相談の実施回数	年42回以上		高齢福祉課 地域包括ケア推進係		
					50回				
				相談件数	3,338件				
		② 介護予防ケアマネジメントの充実	機能強化職員等の配置	地域包括支援センターにおける機能強化職員の配置人数	7人以上	つつじヶ丘包括で不足 ※令和6年11月から解消。	高齢福祉課 地域包括ケア推進係		
					6.4人				
		③ 包括的・継続的なケアマネジメントの充実	包括及び市で生活状況調査（訪問調査）を実施	訪問調査実施件数	年30件以上	10月から開始	高齢福祉課 地域包括ケア推進係		
					0件				
		④ 地域包括支援センター職員の質の向上と負担軽減	地域包括支援センター職員（3職種）の確保	配置基準を満たしている地域包括支援センター数	7包括	南部包括とつつじヶ丘包括で社会福祉士が欠員	高齢福祉課 地域包括ケア推進係		
					5包括				
		⑤ 地域ケア会議の強化	地域ケア個別会議の開催	開催回数	年7回以上	下半期で3回実施	高齢福祉課 地域包括ケア推進係		
					4回				
			地域ケア推進会議の開催	開催回数	年7回以上		高齢福祉課 地域包括ケア推進係		
					10回				
		基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(2) 生活支援体制整備の推進	① 生活支援体制整備の推進	生活支援コーディネーターの設置	SC設置数（1層）	1人		高齢福祉課 地域包括ケア推進係
							1人		
1層協議体の数	1つ								
	1つ								
SC設置数（2層）	3人								
	4人								
2層協議体の数	3つ					高齢福祉課 地域包括ケア推進係			
	3つ								
集いの場の把握、担い手の発掘	高齢者通いの場支援事業助成金の交付団体数				16団体		健康増進課 健康づくり係		
					17団体				
就労的支援コーディネーターの設置	就労的支援コーディネーター設置数				1人		高齢福祉課 地域包括ケア推進係		
					1人				

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

参考資料（中間実績）

基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(3) 認知症施策の推進	① 認知症への理解を深めるための知識の普及啓発	認知症市民公開講座	開催回数	年1回		高齢福祉課 高齢者支援係
					年1回		
				参加者数	120人		高齢福祉課 高齢者支援係
					63人		
			認知症カフェ	開催回数	年40回	10月～委託にて開始 サロン（12回）＋コンシェルジュ（6回）	高齢福祉課 高齢者支援係
					18回		
				のべ参加者数（年間）	80人	サロン（1回10人×12回）＋ コンシェルジュ（1回5人×6回）	高齢福祉課 高齢者支援係
					150人		
			認知症サポーターの育成	サポーターの養成数（年間）	400人		高齢福祉課 高齢者支援係
					400人		
		サポーター養成講座 実施回数		年15回程度		高齢福祉課 高齢者支援係	
			年15回程度				
		活動しているサポーター数	3人		高齢福祉課 高齢者支援係		
			10人				
		② 認知症支援体制の整備と関係機関の連携	認知症地域支援推進員	認知症地域支援推進員の配置	1人		高齢福祉課 高齢者支援係
					1人		
			認知症初期集中支援チーム	ケースが概ね6か月で医療・介護につながる割合	100%		高齢福祉課 高齢者支援係
					100%		
			認知症高齢者事前登録制度	広報回数	年1回		高齢福祉課 地域包括ケア推進係
					1回		
	登録者数(年度末)	76人		高齢福祉課 地域包括ケア推進係			

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

参考資料（中間実績）

基本目標1 地域包括ケアシステムの強化	(4) 在宅医療・介護の連携推進	① 在宅医療・介護の連携の実態把握、課題の検討、課題に応じた施策立案	亀岡市地域医療・介護・福祉連携推進会議の開催	会議の開催回数	概ね月1回	推進会議 1回/年 幹事会 1回/2カ月 市民啓発部会 1回/月 人材育成部会 1回/月 ACP運用検討委員会 1回/月	健康増進課 健康管理係	
					概ね月1回			
		② 地域の関係者との関係構築・人材育成	かめおか医療連携研究会の開催	開催回数	年2回以上	第35回かめおか医療連携研究会	健康増進課 健康管理係	
					年1回			
		③ 在宅医療・介護の連携に向けた基盤強化	市民への啓発活動の実施	実施回数	年10回以上	ざっくばらんの会 11回	健康増進課 健康管理係	
					年11回			
		基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(1) 介護予防・日常生活支援総合事業の推進	① 介護予防・日常生活支援サービス事業の取組	介護予防・生活支援サービス事業	利用者数（訪問）	230人	高齢福祉課 介護事業所係
							252	
						利用者数（通所）	391人	
458								
② 一般介護予防事業の推進	介護予防教室			参加実人数（年間）	100人	キラリ☆ココカラ介護予防塾参加者見込み（見込み：中央型100人・地域型40人）	健康増進課 健康づくり係	
					140人			
	体力測定事業			参加者数（年間）	400人		健康増進課 健康づくり係	
					380人			
	出前健康講座			広報回数	年3回	出前健康講座（広報かめおか2回、ホームページ掲載、案内チラシ配布）その他健康教育広報1回見込み	健康増進課 健康づくり係	
					年3回			
介護予防拠点活動事業	実施場所の数			のべ参加者数	11回	フレイル予防特化型介護予防事業（5か所）1,200人見込み 介護予防拠点活動支援事業（4か所）1,800人見込み	健康増進課 健康づくり係	
					17回			
					9か所			
					9か所			
					2,800人			
			3,000人					

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

参考資料（中間実績）

基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(2) 健康づくりの推進と介護予防の一体的な実施	① 健康づくり支援の充実	健康づくりの普及啓発	健康イベント（健康いきいきフェスティバル）の開催回数	年1回		健康増進課 健康管理係
					年1回		
			各種健診（検診）の実施	特定保健指導の実施率	31%	※令和5年度特定健診の特定保健指導対象者への実施率 参加者率28.3% 終了（実施）率26.1% 積極的保健指導実施率：13.1% 動機づけ保健指導実施率：29.1%	健康増進課 健康づくり係
					26.10%		
			健康教育・健康相談	健康相談開催回数	年12回	定例・中央型：5回、イベント・地域型：5回見込み	健康増進課 健康づくり係
					年10回		
		② 高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施	通いの場への支援	支援対象となる「通いの場」の数	14か所		健康増進課 健康づくり係
					19か所		
			ハイリスク者への支援(新規)	支援実施率	100%	健康状態不明者：90.7%（118人/130人） 糖尿病重症化予防コントロール不良者：94.9%（37人/39人） 糖尿病等治療中断者：75%（3人/4人） 腎機能不良未受診者：0%（0人/1人） 口腔機能低下者：23.3%（38人/163人）	健康増進課 健康づくり係
					58.20%		

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

参考資料（中間実績）

基本目標2 住み慣れた地域で健康でいきいきと暮らせるまちづくり	(3) 高齢者の活動支援（生きがいづくり）	① 活動機会の拡充	老人クラブの活動支援	老人クラブイベント参加者数	500人	定期大会・ウォーキング・ワナゲ・趣味の作品展の合計参加者数 令和6年12月時点で定期大会のみ報告	高齢福祉課 高齢者支援係
					150人		
			生涯学習等	亀岡市さわやか教室の受講者にアンケートを行い、日々の生活に活かしたい具体的な内容が得られたと答えた人の割合	80%	年間計画7講座のうち5講座開催したため、5講座の実績となっています。	社会教育課
					99.04%		
			三大シンボル講座（コレージュ・ド・カメオカ、生涯学習市民大学、丹波学トーク）のべ参加者数	4,220人	令和6年10月末時点の実績。（ただし、全体の参加者数であり、高齢者に限定していない。） コレージュ・ド・カメオカ 1回開催 生涯学習市民大学 5回開催 丹波学トーク 未開催	市民力推進課	
				1,531人			
			生涯スポーツ事業参加者	5,535人		生涯スポーツ課	
				5,529人			
			老人福祉施設（介護予防センター）の活用促進	使用日数	370日	令和6年9月末時点	高齢福祉課 高齢者支援係
					143日		
				のべ利用者数	4,900人		
					1,431人		
			外出促進（敬老乗車券の販売）	購入者実人数	1,500人		高齢福祉課 高齢者支援係
					1,098人		
② 就労機会の拡大	シルバー人材センターの活動支援	会員数	660人	高齢福祉課 高齢者支援係			
			503人				

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

参考資料（中間実績）

基本目標3 高齢者の安全・安心な暮らしを支える体制づくり	(1) 権利擁護の促進	① 高齢者虐待の防止	早期発見・防止に向けた取組	専門職等への周知及び市民への啓発	年1回以上		高齢福祉課 高齢者支援係		
			関係機関との連携強化	高齢者虐待ネットワーク会議の開催（各機関の役割確認を必須とする）	年1回以上 年1回				
		② 成年後見制度の利用促進	権利擁護支援の地域連携ネットワークにおける中核機関運営	中核機関運営委員会の開催	年3回以上				高齢福祉課 地域包括ケア推進係
					1回				
	③ 福祉サービス利用援助事業の活用	社会福祉協議会における福祉サービス利用補助事業の活用	実績件数	0件		高齢福祉課 高齢者支援係			
	④ 消費者被害対策の強化	消費者被害防止の啓発	広報回数	年12回以上		消費生活センター (市民課)			
				14回					
	(2) 住まいの整備	① 介護保険外入所施設・高齢者向け住宅の充実	軽費老人ホーム、サービス付き高齢者住宅の充実	市内の軽費老人ホーム・サービス付き高齢者住宅の戸数	33戸		高齢福祉課 高齢者支援係		
		④ 養護老人ホームへの入所措置	養護老人ホームへの入所措置	措置件数	2人	令和6年9月末時点	高齢福祉課 高齢者支援係		
	(3) 安全・安心な生活環境づくり	① 災害時における要支援者の避難支援体制の整備	要支援者の避難支援体制の充実	避難行動要支援者名簿（同意者）に対する個別避難計画の作成率	90%		地域福祉課		
					91.8%				
		② 命のカプセル等の配付	命のカプセルの普及	命のカプセル新規配付数	700件	9月～10月にかけて各地区民生委員児童委員協議会と契約し、10月、11月以降に配付が開始されるため、現状は実績が少ない。今後配付数は増える見込み。	高齢福祉課 高齢者支援係		
					63件				
					命のカプセル（新規配付+情報シート配付） 107件				
		③ 交通安全対策の充実	運転免許証の自主返納	自主返納者支援事業申請者数	年1回	令和6年10月1日に広報した	自治防災課		
	年1回								
	④ ボランティア・NPO活動の促進	いきいき健幸ポイント制度	参加者登録数	330件		高齢福祉課 地域包括ケア推進係			
				349件					
	(4) 地域支援（地域活動・福祉の育成）	② 市民活動団体・組織の育成・支援	高齢者を見守る地域コミュニティの育成	自治会加入世帯数	前年度から減少（令和6年性） 61件		自治防災課		
					250人				
				142人					
				80.4%					
				80.0%					

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

参考資料（中間実績）

基本目標4 介護保険をはじめとしたサービス基盤の整備	(1) 介護保険サービス	①介護サービスの確保	介護サービスの質の確保	地域密着型サービス事業所の運営指導件数	7件		高齢福祉課 介護事業所係
					10件		
				集団指導の実施	年1回		高齢福祉課 介護事業所係
					年1回		
			新規指定事業所数	3事業所		高齢福祉課 介護事業所係	
				4事業所			
			介護離職ゼロに向けた取組	特養待機者の減少	40人	高齢福祉課 介護事業所係	
					未調査		
		②人材確保及び質の向上	介護支援専門員の質・専門性の向上	居宅介護（介護予防）支援事業所の運営指導件数	7件	高齢福祉課 介護事業所係	
					5件		
				研修の実施回数	年1回	高齢福祉課 介護事業所係	
					年1回		
			介護人材の確保・育成	介護人材確保助成事業の件数	25件	高齢福祉課 介護事業所係	
					18件		
		③介護給付の適正化の推進 (介護給付適正化計画)	介護給付適正化の推進	要介護認定の委託調査の事後点検	全件実施	高齢福祉課 介護事業所係	
					全件実施		
				ケアプラン点検の件数	30件	高齢福祉課 介護事業所係	
					51件		
				医療情報との突合・縦覧点検	全件実施	高齢福祉課 介護事業所係	
					全件実施		
④ 防災・感染症対策の推進	事業所において業務継続計画（BCP）の策定	策定率	100%	高齢福祉課 介護事業所係			
			100%				
	事業所において避難訓練の実施	実施率	100%	高齢福祉課 介護事業所係			
			100%				

亀岡市いきいき長寿プラン 第9期 基本施策の数値目標一覧

基本方針：地域包括ケアシステムの深化・推進

参考資料（中間実績）

基本目標4 介護保険をはじめとしたサービス基盤の整備	(2) 高齢者福祉サービス	①高齢者福祉サービスの整備	寝具洗濯乾燥消毒事業	実施件数	1件	令和6年9月末時点	高齢福祉課 高齢者支援係
			緊急通報装置設置事業	新規設置件数	15件	令和6年9月末時点	高齢福祉課 高齢者支援係
			高齢者自立支援住宅改修費 助成金交付事業	交付件数	1件	令和6年9月末時点	高齢福祉課 高齢者支援係
			福祉電話設置事業	設置件数	0件	令和6年9月末時点	高齢福祉課 高齢者支援係
			高齢者ごみ出し支援事業の 構築	利用者数	40人	15人(実績) ※9月末時点	資源循環推進課
			介護用品支給事業	支給件数	145件		高齢福祉課 地域包括ケア推進 係
			認知症高齢者等居場所確認 専用端末機貸与事業	貸与件数	0件	令和6年9月末時点	高齢福祉課 高齢者支援係
			在宅高齢者介護激励金支給 事業	支給件数	1件	令和6年9月末時点	高齢福祉課 高齢者支援係
			家族介護慰労金支給事業	支給件数	0件	令和6年9月末時点	高齢福祉課 高齢者支援係
		②高齢者福祉サービスの周知 活動の実施	サービスガイドブックの作 成	配布冊数/作成冊数	643冊/1,100冊	令和6年9月末時点	高齢福祉課 高齢者支援係

○概要

市内の高齢者等の生活実態をはじめ、介護保険サービスや高齢者保健福祉サービスの利用状況、これらに対する今後のニーズ、健康づくりや生きがいづくりに関する意識などを的確に把握し、第10期計画策定の基礎資料とするため、高齢者等実態把握調査を例年、計画2年目(今期では令和7年度)に実施します。

亀岡市では、介護予防・日常生活圏域ニーズ調査及び在宅介護実態調査を実施しています。

○令和4年度調査票(参考)

別紙2のとおり

○令和4年度 高齢者等実態調査 概要一覧

調査名	介護予防・日常生活圏域 ニーズ調査	在宅介護実態調査
目的	総合事業の進捗管理・事業評価のために必要な地域診断を行う(地域課題の特定)	要介護者の在宅生活の継続・介護者の就労継続に有効な介護サービスの在り方を検討する
対象者	亀岡市の65歳以上で、要介護1から5までの認定を受けていない者	市内の在宅で生活している要支援、要介護認定を受けている者(及びその介護する家族)
調査方法	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収
配布数	2,250件	625件
有効回収数 [有効回収率]	1,399件 [62.2%]	343件 [54.9%]
調査期間	令和4年12月13日～12月28日	
調査結果の活用	見える化システムに登録、調査報告書の公表(市HP・情報コーナー) 第9期計画策定に係る基礎資料、第8期評価指標	
経年比較	見える化システムにより経年比較、他市町村比較が可能	

※調査結果の概要を亀岡市いきいき長寿プラン冊子のP120～P147に掲載しており、完全版はホームページに掲載しています。

亀岡市 高齢者等実態調査（令和4年度） 【介護予防・日常生活圏域二ーズ調査票】

日頃は、亀岡市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、3年に一度「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行い、高齢者福祉施策や介護保険事業の推進に取り組んでおります。

このたび、本市にお住まいの令和4年11月1日現在で65歳以上の方から、無作為に選んだ皆様を対象に、現在の心身状況や、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対するお考えをお聞かせいただくため、健康や日常生活に関する調査を実施します。調査結果は、令和5年度に策定する高齢者福祉計画に係る調査研究の基礎資料として活用させていただきます。

なお、ご記入いただきました内容は、本調査以外の目的に使用いたしません。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

亀岡市 健康福祉部 高齢福祉課

記入に際してのお願い

- ご回答にあたっては封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族の人等がご本人の立場にたって回答されてもかまいません。
- ご回答にあたっては質問をよく読んでいただき、該当する番号を○で囲んでください。数字を記入する欄は右詰め（例

	6	2
--	---	---

 kg）でご記入ください。
- とくに断りの無い場合は選択肢の1つに○をつけてください。
「○はいくつでも」等の表記があれば、その内容にしたがって○をつけてください。
- 調査票記入後は3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、
12月28日（水）までに投函してください。
- この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

亀岡市高齢福祉課 高齢者係

【電話】0771-25-5032（直通）

個人情報 の 取 り 扱 い に つ い て

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、高齢者福祉計画及び介護保険事業計画策定の目的以外には利用いたしません。また当該情報については適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

★まずはじめに、以下のご記入をお願いします。

記 入 日	令和 年 月 日
-------	----------

調査票を記入されたのはどなたですか

1. あて名のご本人が記入
2. ご家族が記入（あて名のご本人からみた続柄 _____）



あて名のご本人が回答できない主な理由は何ですか

1. 身体的状況
2. 施設入院・入所
3. 転居
4. その他（ _____ ）

3. その他の人（具体的に： _____）

問1 あなたのご家族や生活状況について

(1) 家族構成をお教えてください

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 1人暮らし | 2. 夫婦2人暮らし（配偶者 65 歳以上） |
| 3. 夫婦2人暮らし（配偶者 64 歳以下） | 4. 息子・娘との2世帯 |
| 5. その他（具体的に： _____） | |

(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

1. 介護・介助は必要ない ⇒ (3) へ
2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない
3. 現在、何らかの介護を受けている（介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む）

【(2)で「2.」または「3.」(何らかの介護・介助が必要)と回答の方のみ】

(2)-1 介護・介助が必要になった主な原因は何ですか（○はいくつでも）

- | | | |
|---------------------|-----------------|-------------------|
| 1. 脳卒中（脳出血・脳梗塞等） | 2. 心臓病 | 3. がん（悪性新生物） |
| 4. 呼吸器の病気（肺炎や気管支炎等） | 5. 関節の病気（リウマチ等） | 6. 認知症（アルツハイマー病等） |
| 7. パーキンソン病 | 8. 糖尿病 | 9. 腎疾患（透析） |
| 10. 視覚・聴覚障がい | 11. 骨折・転倒 | 12. 脊椎損傷 |
| 13. 高齢による衰弱 | 14. その他（ _____） | 15. 不明 |

【(2)で「3. 現在、何らかの介護を受けている」と回答の方のみ】

(2)-2 主にどなたの介護、介助を受けていますか（○はいくつでも）

- | | | |
|----------------|----------------|----------|
| 1. 配偶者（夫・妻） | 2. 息子 | 3. 娘 |
| 4. 子の配偶者 | 5. 孫 | 6. 兄弟・姉妹 |
| 7. 介護サービスのヘルパー | 8. その他（ _____） | |

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- | | | |
|---------------------|-----------------|-----------|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） | 3. 公営賃貸住宅 |
| 4. 民間賃貸住宅（一戸建て） | 5. 民間賃貸住宅（集合住宅） | 6. 借家 |
| 7. その他（具体的に： _____） | | |

(5) 6歳～30歳の間で、学校に通っていたのは合計で何年ですか

（小学・中学・高校・大学など） 合計 _____ 年間 （※数字を記入）

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(3) 15分位続けて歩いていますか			
1. できるし、している	2. できるけどしていない	3. できない	
(4) 以前に比べて歩く速度が遅くなってきたと思いますか			
1. はい	2. いいえ		
(5) 過去1年間に転んだ経験がありますか			
1. 何度もある	2. 1度ある	3. ない	
(6) 転倒に対する不安は大きいですか			
1. とても不安である	2. やや不安である	3. あまり不安でない	4. 不安でない
(7) 週に1回以上は外出していますか			
1. ほとんど外出しない	2. 週1回	3. 週2～4回	4. 週5回以上
(8) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか			
1. とても減っている	2. 減っている	3. あまり減っていない	4. 減っていない
(9) ウォーキング等の運動を週に1回以上していますか			
1. はい	2. いいえ		
(10) 外出を控えていますか			
1. はい ⇒ (10)-1へ	2. いいえ ⇒ (11)へ		
【(10)で「1. はい」(外出を控えている)と回答の方のみ】			
(10)-1 外出を控えている理由は、次のどれですか (○はいくつでも)			
1. 病気	2. 障がい (脳卒中の後遺症など)		
3. 足腰などの痛み	4. トイレの心配 (失禁など)		
5. 耳の障がい (聞こえの問題など)	6. 目の障がい		
7. 外での楽しみがない	8. 経済的に出られない		
9. 交通手段がない	10. その他 ()		
(11) 外出する際の移動手段は何ですか (○はいくつでも)			
1. 徒歩	2. 自転車	3. バイク	
4. 自動車 (自分で運転)	5. 自動車 (人に乗せてもらう)	6. 電車	
7. 路線バス	8. 病院や施設のバス	9. 車いす	
10. 電動車いす (カート)	11. 歩行器・シルバーカー	12. タクシー	
13. その他 (具体的に:)			
【(11)で「7. 路線バス」または「12. タクシー」と回答の方のみ】			
(11)-1 バスやタクシー乗車の際、敬老乗車券を利用していますか			
1. バスで利用	2. タクシーで利用	3. バス・タクシーで利用	4. 利用していない

問3 食べることについて

(1) 身長・体重を記入ください

身長

--	--	--

cm

体重

--	--	--

kg

(2) 食事は自分で食べられますか

1. できる 2. 一部介助（おかずを切ってもらうなど）があればできる 3. できない

(3) 1日3食きちんと食べていますか

1. はい 2. いいえ

(4) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

1. はい 2. いいえ

(5) お茶や汁物等でむせることがありますか

1. はい 2. いいえ

(6) 口の渇きが気になりますか

1. はい 2. いいえ

(7) 歯磨き（人にやってもらう場合も含む）を毎日していますか

1. はい 2. いいえ

(8) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください（※成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です）

1. 自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし

(8)-1 噛み合わせは良いですか

1. はい 2. いいえ

【(8)で「1.自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」または
「3.自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」と回答の方のみ】

(2)-2 毎日入れ歯の手入れをしていますか

1. はい 2. いいえ

(9) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか

1. はい 2. いいえ

(10) どなたかと食事をとる機会がありますか

1. 毎日ある 2. 週に何度かある 3. 月に何度かある
4. 年に何度かある 5. ほとんどない

(16) 友人の家を訪ねていますか	
1. はい	2. いいえ
(17) 家族や友人の相談にのっていますか	
1. はい	2. いいえ
(18) 病人を見舞うことができますか	
1. はい	2. いいえ
(19) 若い人に自分から話しかけることがありますか	
1. はい	2. いいえ
(20) 趣味はありますか	
1. 趣味あり (具体的に: _____)	2. 思いつかない
(21) 生きがいがありますか	
1. 生きがいあり (具体的に: _____)	2. 思いつかない
(22) あなたは周りの人の何割を信頼できますか (※「信頼できる人が全くいない」を0割、「信頼できる人がとても多い」を10割として、あてはまる割合を○で囲んでください)	
(信頼できる人が全くいない) ←—————→ (信頼できる人がとても多い) 0割 1割 2割 3割 4割 5割 6割 7割 8割 9割 10割	

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか
※①～⑧それぞれに回答してください

	週4回 以上	週 2～3回	週1回	月 1～3回	年に数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ (地域のサロンなど) 介護予防のための通いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(11) 以下の5つの項目について、最近2週間のあなたの状態に最も近いものに○をつけてください
(1つの質問につき、1つだけ○)

	まったく ない	ほんの ために	半分以下 の期間を	半分以上 の期間を	ほとんど いつも	いつも
① 明るく、楽しい気分で過ごした	1	2	3	4	5	6
② 落ち着いた、リラックスした気分で 過ごした	1	2	3	4	5	6
③ 意欲的で、活動的に過ごした	1	2	3	4	5	6
④ ぐっすりと休め、気持ちよくめざめた	1	2	3	4	5	6
⑤ 日常生活の中に、興味のあることが たくさんあった	1	2	3	4	5	6

(12) かかりつけ医はありますか

1. はい 2. いいえ

(13) 定期的に歯科検診を受けていますか

1. はい 2. いいえ

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

1. はい 2. いいえ

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

1. はい 2. いいえ

問9 介護保険サービスについて

(1) あなたの介護保険料についての経済的負担感はどうですか

1. 負担は感じない 2. この程度ならよい 3. やや負担が大きい 4. 負担が大きい

(2) サービス利用に伴う自己負担分について経済的負担感はどうですか

1. 負担は感じない 2. この程度ならよい 3. やや負担が大きい 4. 負担が大きい
5. サービスを利用していない

(3) あなたの介護サービスの利用について、どのようにお考えですか

1. できるだけ家族や自分で対応すべきであり、介護サービスには頼らない
2. 家族、自分、ボランティアや地域の人の方でも足りない部分を介護サービスで補ってほしい
3. 家族や自分だけでは対応できない部分については、介護サービスを利用したい
4. 介護サービスを利用する権利があるのだから、できるだけ利用したい
5. その他(具体的に：)

(4) あなたは、介護サービスと保険料の関係について、どのようにお考えですか

介護保険料は、市全体の状況や実績から決定しています。介護サービスを充実させるほど保険料は高くなり、逆に保険料を下げれば介護サービスの水準が下がります。

1. 介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい ⇒ (4)-1、(4)-2 へ
2. 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのがよい ⇒ (4)-3 へ
3. サービスの量が低下しても、保険料が安いほうがよい ⇒ (4)-3 へ
4. その他（具体的に： _____ ） ⇒ 次ページの (5) へ

【(4)で「1. 介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい」と回答の方のみ】

(4)-1 施設や介護サービスの量が増えるのであれば、保険料の基準額（現在 月 5,196 円）は、いくらが適当だと思いますか

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 1. 月 5,196 円～5,500 円未満 | 2. 月 5,500 円～6,000 円未満 |
| 3. 月 6,000 円～7,000 円未満 | 4. 月 7,000 円～8,000 円未満 |
| 5. 月 8,000 円以上 | 6. わからない |

【(4)で「1. 介護保険料が今より高くなっても、施設や在宅サービスの量を増やす方がいい」と回答の方のみ】

(4)-2 施設や在宅サービスの量を増やすとしたら、最も希望するのはどのサービスですか
(○は最も希望するもの1つだけ)

1. 施設サービス（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）
2. 訪問サービス（訪問介護（ホームヘルパーの訪問）・訪問入浴・訪問看護（看護師の訪問））
3. 通所サービス（通所系サービス（通所介護（デイサービス）・通所リハビリ））
4. 短期入所生活介護（ショートステイ）…介護者の不在等により一時的に施設に入所することができるサービス
5. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）…認知症の人が介護を受けながら共同生活を送る施設

【(4)で「2. 施設や在宅サービスの量は現状程度とし、保険料も現状程度とするのがよい」または「3. サービスの量が低下しても、保険料が安いほうがよい」と回答の方のみ】

(4)-3 施設や在宅サービスの中で、なくなると最も困るサービスは何ですか
(○は最も困るもの1つだけ)

1. 施設サービス（特別養護老人ホーム、老人保健施設等）
2. 訪問サービス（訪問介護（ホームヘルパーの訪問）・訪問入浴・訪問看護（看護師の訪問））
3. 通所サービス（通所系サービス（通所介護（デイサービス）・通所リハビリ））
4. 短期入所生活介護（ショートステイ）…介護者の不在等により一時的に施設に入所することができるサービス
5. 認知症対応型共同生活介護（グループホーム）…認知症の人が介護を受けながら共同生活を送る施設

(5) 保険料を財源として亀岡市独自のサービスを行うとしたら、最も希望するのはどのサービスですか (○は最も希望するもの1つだけ)

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| 1. 外出の付添・見守り等 | 2. 配食サービス |
| 3. 介護予防を目的とした体操教室や口腔教室等 | 4. 健康に関する教室や介護者の支援事業 |
| 5. 保険料が高くなるのであれば、希望しない | |

問 10 その他

(1) 現在、利用している「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください (○はいくつでも)

- | | | | |
|-----------------------|------------|--------------------|----------|
| 1. 移送サービス (介護・福祉タクシー) | 2. 見守り、声かけ | | |
| 3. サロンなどの定期的な通いの場 | 4. 配食 | 5. 調理 | 6. 掃除・洗濯 |
| 7. 買い物 (宅配は含まない) | 8. ゴミ出し | 9. 外出同行 (通院、買い物など) | |
| 10. その他 () | | | |
| 11. 利用していない | | | |

(2) お住まいの地域について、困りごとの相談をしたり、支援を受けやすいと感じますか
(※「全く感じない」を0点、「とても感じる」を10点として、あてはまる点数を○で囲んでください)

(全く感じない) ←————→ (とても感じる)
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(3) お住まいの地域について、安心して在宅生活を継続しやすいと感じますか
(※「全く感じない」を0点、「とても感じる」を10点として、あてはまる点数を○で囲んでください)

(全く感じない) ←————→ (とても感じる)
0点 1点 2点 3点 4点 5点 6点 7点 8点 9点 10点

(4) あなたは、この1年間に、どのくらいの現金を寄付、募金されましたか (現物によるものは相当額に換算してください)

- | | | |
|------------------|-------------------|---------------------|
| 1. 100円未満 | 2. 100円以上1,000円未満 | 3. 1,000円以上5,000円未満 |
| 4. 5,000円以上1万円未満 | 5. 1万円以上5万円未満 | 6. 5万円以上10万円未満 |
| 7. 10万円以上 | 8. 寄付・募金はしていない | |

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

長時間のご協力に感謝します。記入もれがないか、お確かめください。

記入した調査票は切り離すことなく、同封した返信用封筒に入れて、

12月28日(水)までに投函してください。

※返信用封筒には、この調査票のみを入れてご投函ください。(切手不要)

亀岡市 高齢者等実態調査（令和4年度）

【在宅介護実態調査票】

日頃は、亀岡市の高齢者福祉及び介護保険事業にご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

本市では、3年に一度「高齢者福祉計画・介護保険事業計画」の見直しを行い、高齢者福祉施策や介護保険事業の推進に取り組んでおります。

このたび、本市にお住まいの在宅で生活をしている要支援、要介護認定を受けている方のうち、今年度に認定の更新や区分変更をされる方を対象に、現在の心身状況、介護保険制度・高齢者福祉サービスに対するお考えや介護者の方に関する日常生活についてお聞かせいただき調査を実施します。調査結果は、高齢者等の適切な在宅生活の継続と家族等介護者の就労継続に向けて、介護サービスのあり方を検討する基礎資料として活用させていただきます。

なお、ご記入いただきました内容は、本調査以外の目的に使用いたしません。趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いいたします。

亀岡市 健康福祉部 高齢福祉課

記入に際してのお願い

- ご回答にあたってA票は、封筒のあて名ご本人についてお答えいただきますが、ご家族の人等がご本人の立場にたって回答されてもかまいません。
B票は、主たる介護者の方がお答えください。
- ご回答にあたっては質問をよく読んでいただき、該当する番号を○で囲んでください。
- とくに断りの無い場合は選択肢の1つに○をつけてください。
「○はいくつでも」等の表記があれば、その内容にしたがって○をつけてください。
- 調査票記入後は3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、
12月28日（水）までに郵便ポストに投函してください。
- この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

亀岡市高齢福祉課 高齢者係 【電話】0771-25-5032（直通）

個人情報の取り扱いについて

個人情報の保護および活用目的は以下のとおりですので、ご確認ください。

なお、本調査票のご返送をもちまして、下記にご同意いただいたものと見なさせていただきます。

【個人情報の保護および活用目的について】

- この調査は、効果的な介護予防施策の立案と効果評価のために行うものです。本調査で得られた情報につきましては、調査目的以外には利用いたしません。また当該情報については適切に管理いたします。
- ただし、介護保険事業計画策定時に本調査で得られたデータを活用するにあたり、厚生労働省の管理するデータベース内に情報を登録し、必要に応じて集計・分析することがあります。

まずはじめに、『A票』にご回答いただくのは、どなたですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 調査対象者本人 | 2. 主な介護者となっている家族・親族 |
| 3. 主な介護者以外の家族・親族 | 4. 調査対象者のケアマネジャー |
| 5. その他 () | |

A票 調査対象者様ご本人について、お伺いします

問1 世帯類型について、ご回答ください(1つに〇)

- | | | |
|---------|-----------|------------|
| 1. 単身世帯 | 2. 夫婦のみ世帯 | 3. その他 () |
|---------|-----------|------------|

問2 ご家族やご親族の方からの介護(同居していない子どもや親族等からの介護を含む)は、週にどのくらいありますか(1つに〇)

- | | |
|----------------------------|---------|
| 1. ない ⇒ 次のページの間8へ | } ⇒ 問3へ |
| 2. 家族・親族の介護はあるが、週に1日よりも少ない | |
| 3. 週に1~2日ある | |
| 4. 週に3~4日ある | |
| 5. ほぼ毎日(週5日以上)ある | |

【問3~問7は、問2で「2.」~「5.」のいずれかと回答した方(ご本人が介護を受けている場合)のみ】

問3 主な介護者の方は、どなたですか(1つに〇) ※ ご本人からみた続柄でお答えください

- | | | |
|--------|----------|------------|
| 1. 配偶者 | 2. 子 | 3. 子の配偶者 |
| 4. 孫 | 5. 兄弟・姉妹 | 6. その他 () |

問4 主な介護者の方の性別について、ご回答ください(1つに〇)

- | | |
|-------|-------|
| 1. 男性 | 2. 女性 |
|-------|-------|

問5 主な介護者の方の年齢について、ご回答ください(1つに〇)

- | | | |
|-----------|-----------|-----------|
| 1. 20歳未満 | 2. 20~29歳 | 3. 30~39歳 |
| 4. 40~49歳 | 5. 50~59歳 | 6. 60~69歳 |
| 7. 70~79歳 | 8. 80歳以上 | 9. わからない |

問6 現在、主な介護者の方が行っている介護等について、ご回答ください（〇はいくつでも）

〔身体介護〕	1. 日中の排泄 3. 食事の介助（食べる時） 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 7. 屋内の移乗・移動 9. 服薬 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）	2. 夜間の排泄 4. 入浴・洗身 6. 衣服の着脱 8. 外出の付き添い、送迎等 10. 認知症状への対応
〔生活援助〕	12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き	
〔その他〕	15. その他（ 16. わからない	

問7 ご家族やご親族の中で、ご本人（認定調査対象者）の介護を主な理由として、過去1年の間に仕事（自営業や農林水産業を含む）を辞めた方はいますか（〇はいくつでも）

※ 現在働いているかどうかや、現在の勤務形態は問いません

1. 主な介護者が仕事を辞めた（転職除く）
2. 主な介護者以外の家族・親族が仕事を辞めた（転職除く）
3. 主な介護者が転職した
4. 主な介護者以外の家族・親族が転職した
5. 介護のために仕事を辞めた家族・親族はいない
6. わからない

※ここから再び、全員の方にお伺いします。

問8 現在、利用している、「介護保険サービス以外」の支援・サービスについて、ご回答ください（〇はいくつでも）

※ 総合事業に基づく支援・サービスは含みません（介護保険サービスに含めるため）

1. 配食	2. 調理
3. 掃除・洗濯	4. 買い物（宅配は含まない）
5. ゴミ出し	6. 外出同行（通院、買い物など）
7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等）	8. 見守り、声かけ
9. サロンなどの定期的な通いの場	10. その他（ 11. 利用していない

問9 今後の在宅生活の継続に必要と感じる支援・サービス（現在利用しているが、さらなる充実が必要と感じる支援・サービスを含む）について、ご回答ください（〇はいくつでも）

※ 介護保険サービス、介護保険以外の支援・サービスとも含みます

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 配食 | 2. 調理 |
| 3. 掃除・洗濯 | 4. 買い物（宅配は含まない） |
| 5. ゴミ出し | 6. 外出同行（通院、買い物など） |
| 7. 移送サービス（介護・福祉タクシー等） | 8. 見守り、声かけ |
| 9. サロンなどの定期的な通いの場 | 10. その他（ ） |
| 11. 特になし | |

問10 現時点での、施設等への入所・入居の検討状況について、ご回答ください（1つに〇）

※「施設等」とは、特別養護老人ホーム、老人保健施設、介護療養型医療施設、特定施設（有料老人ホーム等）、グループホーム、地域密着型特定施設、地域密着型特別養護老人ホームなどを指します。

- | |
|----------------------|
| 1. 入所・入居は検討していない |
| 2. 入所・入居を検討している |
| 3. すでに入所・入居申し込みをしている |

問11 ご本人（調査対象者）が、現在抱えている傷病について、ご回答ください（〇はいくつでも）

- | | |
|----------------------------|---------------------------|
| 1. 脳血管疾患（脳卒中） | 2. 心疾患（心臓病） |
| 3. 悪性新生物（がん） | 4. 呼吸器疾患 |
| 5. 腎疾患（透析） | 6. 筋骨格系疾患（骨粗しょう症、脊柱管狭窄症等） |
| 7. 膠原病（関節リウマチ含む） | 8. 変形性関節疾患 |
| 9. 認知症 | 10. パーキンソン病 |
| 11. 難病（パーキンソン病を除く） | 12. 糖尿病 |
| 13. 眼科・耳鼻科疾患（視覚・聴覚障害を伴うもの） | 14. その他（ ） |
| 15. なし | 16. わからない |

問12 ご本人（調査対象者）は、現在、訪問診療を利用していますか（1つに〇）

※ 訪問歯科診療や居宅療養管理指導等は含みません

- | |
|------------|
| 1. 利用している |
| 2. 利用していない |

問13 現在、介護保険サービスを利用していますか（1つに〇）

※ 住宅改修、福祉用具貸与・購入は含みません

- | |
|----------------------|
| 1. 利用している ⇒問 13-1 へ |
| 2. 利用していない ⇒問 13-2 へ |

- “A票”の問2で「2.」～「5.」を選択された場合（ご本人が介護を受けている場合）は、「主な介護者」の方に以下の“B票”へのご回答・ご記入をお願いします。
- 「主な介護者」の方のご回答・ご記入が難しい場合は、ご本人様（調査対象者様）にご回答・ご記入をお願いします。

B票 **主な介護者の方について、お伺いします**

問1 主な介護者の方の現在の勤務形態について、ご回答ください（○は1つ）

※『パートタイム』とは、“1週間の所定労働時間が、同一の事業所に雇用される通常の労働者に比べて短い方”が該当します。いわゆる「アルバイト」、「嘱託」、「契約社員」等の方を含みます

※自営業・フリーランス等の場合も、就労時間等から「1.フルタイム」「2.パートタイム」のいずれかを選択してください

- | | | |
|-----------------------|---|------------------------|
| 1. フルタイムで働いている | } | ⇒ 問2-1～問2-3についてお答えください |
| 2. パートタイムで働いている | | |
| 3. 働いていない | } | ⇒ 次のページの間3へ |
| 4. 主な介護者に確認しないと、わからない | | |

【問2-1～問2-3は、問1で「1.フルタイム」または「2.パートタイム」で働いていると回答した方のみ】

問2-1 主な介護者の方は、介護をするにあたって、何か働き方についての調整等を行っていますか（○はいくつでも）

- | |
|--|
| 1. 特に行っていない |
| 2. 介護のために、『労働時間を調整（残業免除、短時間勤務、遅出・早帰・中抜け等）』しながら、働いている |
| 3. 介護のために、『休暇（年休や介護休暇等）』を取りながら、働いている |
| 4. 介護のために、『在宅勤務』を利用しながら、働いている |
| 5. 介護のために、「2.」～「4.」以外の調整をしながら、働いている |
| 6. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問2-2 主な介護者の方は、勤め先から特にどのような支援があれば、仕事と介護の両立に効果があると思いますか（○は主なもの3つまで）

- | | |
|--|------------------------|
| 1. 自営業・フリーランス等のため、勤め先はない | |
| 2. 介護休業・介護休暇等の制度の充実 | |
| 3. 制度を利用しやすい職場づくり | |
| 4. 労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など） | |
| 5. 働く場所の多様化（在宅勤務・テレワークなど） | |
| 6. 仕事と介護の両立に関する情報の提供 | |
| 7. 介護に関する相談窓口・相談担当者の設置 | |
| 8. 介護をしている従業員への経済的な支援 | |
| 9. その他（ ） | |
| 10. 特にない | 11. 主な介護者に確認しないと、わからない |

問2-3 主な介護者の方は、今後も働きながら介護を続けていけそうですか（〇は1つ）

1. 問題なく、続けていける
2. 問題はあるが、何とか続けていける
3. 続けていくのは、やや難しい
4. 続けていくのは、かなり難しい
5. 主な介護者に確認しないと、わからない

※全員の方にお伺いします。

問3 現在の生活を継続していくにあたって、主な介護者の方が特に不安を感じる介護等について、ご回答ください（〇は主なもの3つまで） ※現状で行っているか否かは問いません

〔身体介護〕	1. 日中の排泄 2. 夜間の排泄 3. 食事の介助（食べる時） 4. 入浴・洗身 5. 身だしなみ（洗顔・歯磨き等） 6. 衣服の着脱 7. 屋内の移乗・移動 8. 外出の付き添い、送迎等 9. 服薬 10. 認知症状への対応 11. 医療面での対応（経管栄養、ストーマ等）
〔生活援助〕	12. 食事の準備（調理等） 13. その他の家事（掃除、洗濯、買い物等） 14. 金銭管理や生活面に必要な諸手続き
〔その他〕	15. その他（ 16. 不安に感じていることは、特にな 17. 主な介護者に確認しないと、わからない

■■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■■

記入もれがないか、お確かめください。

記入した調査票は切り離すことなく、同封の返信用封筒に入れて、

12月28日（水）までに投函してください。（切手不要）